

豊岡市教育研修センターだより

豊岡市教育委員会 R8(2026).8.24

No.7

豊岡市のホームページにもアップしています。

豊岡市 HP→上段「くらし」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ



PLIJ サマーキャンプ 2026 よい

1 開催概要・テーマ

- ・ 日時：2026年8月4日(火)～8月6日(木)
- ・ 主催：一般社団法人 産業競争力懇談会(PLIJ) / 理事長 浦嶋将年 氏
- ・ 参加者：産・学・官・教の各界より145名
- ・ 主要テーマ：STEAM教育における「A(Arts)」の本質的意義と、
探究学習・人材育成・社会還元のあり方



2 STEAMにおける「A(Arts)」の本質と定義

- ・ 「人間の営み」と意味・価値の創造：AIやロボット技術が急進する時代において、STEM(科学・技術・工学・数学)が解決手段であるのに対し、「A」は人が意味を見出し価値を創出する「思想・哲学・人間性」そのものです。
- ・ 「知(学術)」と「感性(芸術)」の循環：学術が樹の幹・枝葉なら、A(Arts)は「根」にあたります。言語化・認識された要素を新しく関係づけ、STEAM全体の探究環を循環・拡張させる触媒として機能します。
- ・ 「会話」から「対話」への発展：察し合う「会話(ハイコンテキスト)」から、説明し理解に努める「対話(ローコンテキスト)」を生み出します。演劇手法等を通じた他者への共感(エンパシー)と心理的安全性(安心と自由)が基盤となります。

3 政策・産業界・教育行政の最新動向

- ・ 国・産業界の戦略(経団連・内閣府・経産省)：価値多層社会・投資牽引型経済への転換に向け、「マイ探究」や「STEAM化」を推進。定型業務をAIが担う中で、自律的な問い立て力や倫理観を持った人材の育成が急務とされています。
- ・ 次期学習指導要領と評価の転換(文部科学省)：一点刻みのテストや画一的ルーブリック評価から脱却し、1年間の活動プロセスを通じて生徒の強みや「資質・能力を見取る記述評価」への再考が進められています。
- ・ 大学改革・高大接続(東大・東北大等)：東大「UTokyo College of Design」(5年一貫)創設や、東北大学における総合型選抜の拡大(20年スパンで過半数へ)など、探究と選抜の親和性を高める改革が進行しています。

4 教育現場における「A」の実践アプローチ

- ・ 演劇的手法による「文化的処方」：岐阜県（県立 21 校導入）や UNHCR 等の演劇 WS（シアターゲーム・「転校生」演劇・豊岡総合高等学校生徒出演）により、失敗を恐れず試せる安心の場をつくり、表現力と学びへの主体性を引き出します。
- ・ デジタル・デザイン・共創の活用：文化財デジタル活用（DNP）、プロトタイピング（東大 DLX）、シブヤフォント（福祉×デザイン）など、探究に「手触り感（Tangible）」を持たせ社会課題と接続します。
- ・ 探究者形成モデルの往還：探究とは「芸術家型発想（独自の問い・感性）」と「科学者型実装（論理・技術）」を往還することであり、教員は講義者から環境設計者へと役割を転換します。

5 豊岡市の取組への評価と今後の方向性

- ・ 全国トップレベルの認知と支持：豊岡市が市全域で推進する「演劇的手法」と「表現・対話の教育（非認知能力向上）」は、先進事例として参加者（産官学教）から極めて高い評価を獲得。
- ・ 学びに向かう「心のエンジン」：「A」を学びの駆動力と捉え、「ふるさと教育」を軸に、たけの未来づくり科での展開に加え、不登校や生徒指導課題の解決・インクルーシブ教育への高い有用性が確認されました。
- ・ 今後の推進：「A」は教え込むものではなく環境を整えるものであり、産官学の強力な支援を受け、現場での丁寧な探究の実践を継続していきます。

6 総括

STEAM 教育における「A」の神髄とは、「自ら問いを立て、意味を見出し、他者と対話し共創する人間性の探究（心のエンジン）」。

画一的な評価枠を外し、心理的安全性が担保された「安心と自由の場」を創出することこそが、次世代のイノベーターを育む教育の原点となります。

PLIJ サマーキャンプ 2026 への参加のお誘いは、豊岡市の教育が広く全国に認知されており、その成果についても市のホームページ等で確認できたからだとお聞きしました。（事務局より）

各団体からは、「豊岡市の教育がかなり認知されていること」や「非認知能力向上事業はかなり有用であること」、「教育の諸問題（不登校や生徒指導）へのつながり」について示唆いただきました。

サマーキャンプでは、「A」については、幅を広く持ち、様々な視点で進めていくことが大切ではないかとまとめられています。

豊岡市は、「A」を「表現・対話」：学びに向かう心のエンジンとして、セッションしました。豊岡市の教育について、企業、行政、学校からは「丁寧に進めていくこと」と賞賛されています。

